

産業廃棄物処理計画書

平成 25年 6月28日

大分県知事 廣瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県豊後大野市三重町市場847番地

氏 名 株式会社 川 邊 組

代表取締役 川 邊 誠

電話番号 0974-22-01



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 川邊組
事業場の所在地	大分県豊後大野市三重町市場847番地
計画期間	平成25年6月1日～平成26年5月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	451,572 (千円)
③ 従業員数	16人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 24年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	金属くず
	排 出 量	705.91 t	1951.83 t	63.93 t	12.71 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組) ・木くずは天日乾燥後、土などを除去した後、極力軽量化して搬出する。 ・アスファルト殻は、除去時に碎石等を丁寧に分離する。 ・コンクリート殻は、除去時に碎石等が混入しないようにする。 ・金属くずは、他の物が混入しないように注意して軽減を図る。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	金属くず
	排 出 量	700.00 t	1800.0 t	60.00 t	10.00 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)  現状と同じ					

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート殻、アスファルト殻、金属くず、木くずに分別 取組…アスファルト殻は、撤去時に碎石、コンクリート殻が混入しないようにする。 コンクリート殻は、撤去時に碎石が混入しないように丁寧に分別する。 金属くずは、他のものが混入しないように分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同じ

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

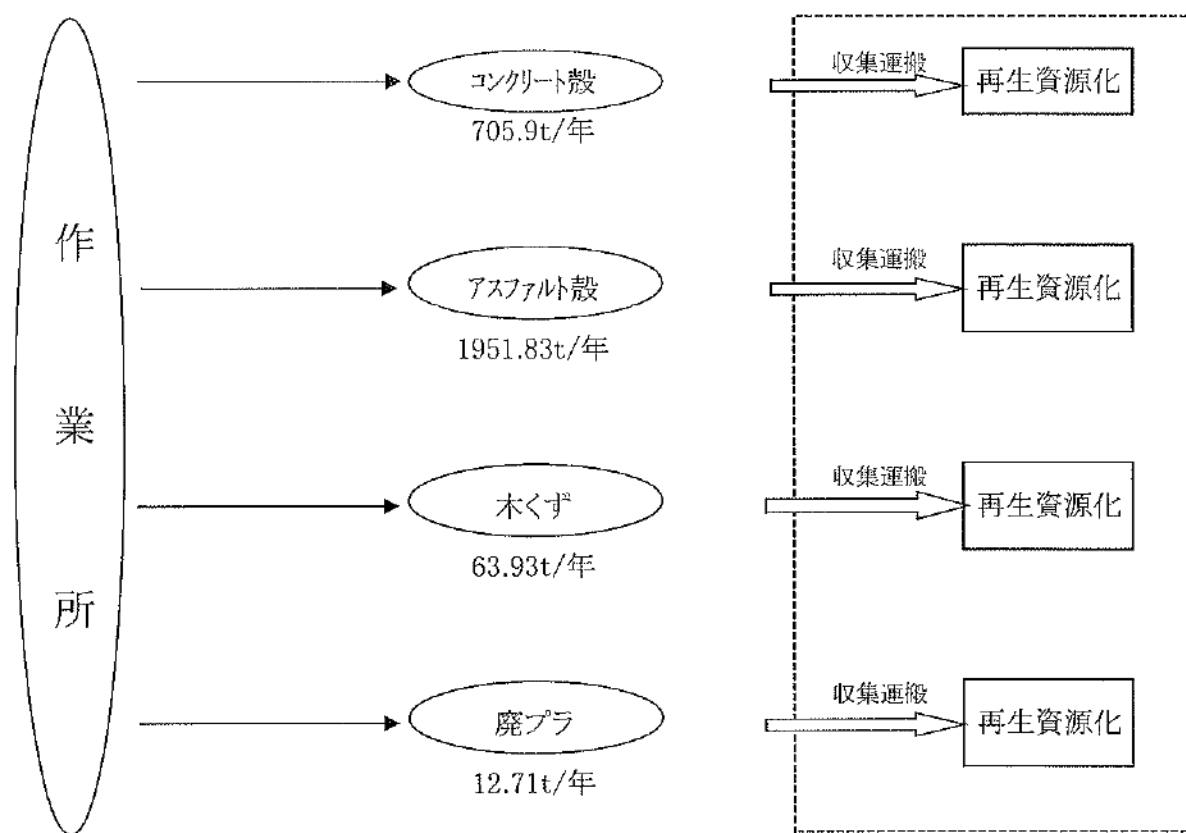
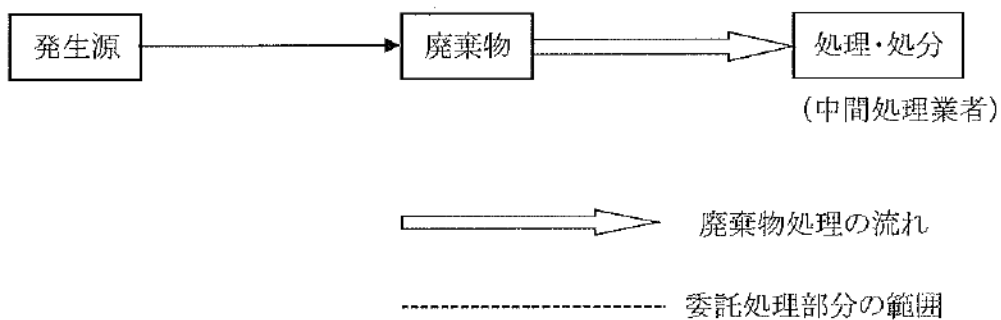
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（                      年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	—		—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t		
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	—		—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t		
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（                      24年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	金属くず
	全処理委託量	705.9 t	1951.83 t	63.93 t	12.71 t	0.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	705.9 t	1951.83 t	63.93 t	12.71 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場内で発生した産業廃棄物は、再生資源プラントに搬入する。</li> <li>・ 再生アスファルトを使用する。</li> <li>・ 再生砕石を使用する。</li> </ul>						

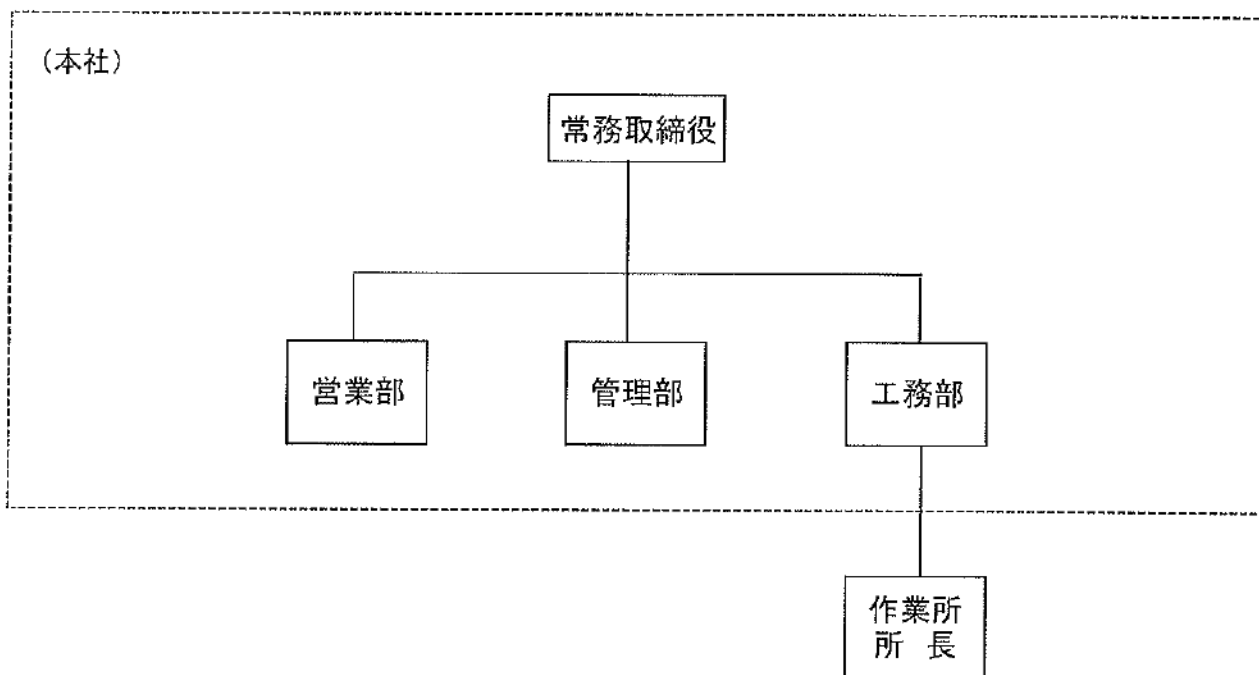
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラ	金属くず
	全処理委託量	700.0 t	1800.0 t	60.0 t	10.0 t	0.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	700.0 t	1800.0 t	60.0 t	10.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
現状と同じ						
※事務処理欄						

## 産業廃棄物の一連の処理の工程



## 廃棄物処理フローチャート(現状)

## 廃棄物管理体制図



	本 社	作 業 所
総括責任者	工務部長	工務部長
廃棄物担当	工務主任	作業所長

役	統括責任者	①廃棄物処理方針の策定 ②本社の廃棄物処理に関する各種事項の決定承認 ③作業所の処理に関する各種事項の決定承認
	(工務部長) 担当者	①本社での廃棄物処理計画の作成 ②本社での廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ③監督官庁への各種報告 ④社員、関連会社に対する教育・啓発
割	(所 長) 担当者	①作業所での廃棄物処理計画の作成 ②作業所での廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ③作業所での処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ④作業所での産業廃棄物管理票の交付・管理